

那須町民憲章

昭和54年11月3日制定

私たちは、那須連山と八溝の山なみにはぐくまれた、歴史と伝統を有する那須町を心から愛し、町民としての誇りをもち、よりすばらしい郷土をつくるために、この憲章を定めます。

一、自然を大切にし環境をととのえ
住みよい郷土にしましょう。

一、教養を深めよい風習を育て
文化のかおる郷土にしましょう。

一、互いに助け合い人情豊かな
あたたかい郷土にしましょう。

一、元気で働き生産にはげみ
活力ある郷土にしましょう。

一、きまりを守り秩序のある
明るい郷土にしましょう。



町の花・・・リンドウ

リンドウは、その種類も多く那須野ヶ原一带に自生し、春から秋にかけて咲き誇ります。そのすがすがしい藍紫色の花の姿は、清そにして気品を保ち、私たちの心をなごませてくれ、多くの人々に親しまれています。

特に初秋の澄みきった空に映えるリンドウは、自然に恵まれた那須町のシンボルとしてふさわしい花といえます。

町の鳥・・・カッコウ

カッコウは、ホトトギス科の鳥で、5月頃から渡来し那須町一带に住みつき、カッコウ・カッコウと初夏をつげるが如く早朝から美しい声を聞かせてくれます。

広大な本町の大自然に、さわやかさを一段と増すカッコウの鳴き声は、人々の心を和らげ、明るく住みよい那須町にふさわしい鳥といえます。

町の木・・・ゴヨウマツ

ゴヨウマツは、古い時代より那須岳一带に自生し、那須の景観を一層豊かにし、町民に親しまれています。

常盤の緑を保ちながら自然の風雪に耐えるその樹形は、真にたくましく、美しいものです。幹は天を仰ぎ、力強く勇壮。まさに、町民の心意気と限りなく発展する那須町を象徴するにふさわしい木であるといえます。